



鶴からの手紙

真鶴中学校だより 第二一九号

2020.10.30
責任者
市川 麻美

学習活動発表会

〜輪開〜

十月二十三日(金)、令和二年度学習活動発表会を実施しましたが、感染症対策を行い、例年より規模を縮小して行わざるを得ませんでした。生徒会チームも昨年度の「輪開」を引き継いで行いました。様々な制限の中、また短い準備期間の中、生徒のみなさんは期待通り、いや、それ以上の発表を見せてくれました。

開会式でお話したとおり、特に三年生には大変な我慢と苦勞を強いてしまったと思います。これまで、運動会も修学旅行も延期される中、本当によく落ち着いて、多くのやるべきことに向き合っていたと感じています。一、二年生も同様、「新しい学校生活様式」の中で、できることを工夫した上で、活動してきました。みんな立派です。

発表会は、実行委員長の言葉、生徒会本部役員によるオープニング・エンディング、二年「職業紹介」(職場体験に出かけられない中よくまとめました)とエコについて、三年「真

鶴への提案」(ユニバーサルデザインの視点で)、そして吹奏楽部・英語科・科学部の発表、すべてに感心しました。展示作品も多く、丁寧仕上げられていました。特に合唱発表では、それぞれのクラスの色がはつきりと表現されていたと思います。緊張する中、一杯頑張ろうとしていることが手に取るようにわかりました。感動をありがとう。

保護者の皆様には、映像配信のみ(音声が不十分だった部分もあったことと思います)で誠に申し訳ありませんでした。今年度初めての、大事な学校行事が成功したこと。真鶴中学校全員で誇りに思いましょう。そしてまだ続くであろう、この難しい時期を、面倒なことを嫌がらず、(愚痴ははき出していいですが)腐らず、一歩ずつ進んで(たまに二歩下がってしまうかもしれないけれど、大丈夫。いきましよう。マスクの中の「笑顔」を忘れずに!



学習活動発表会を終えて

三年

今日、中学校生活最後の学習活動発表会が終わりました。そのなかでも特に合唱発表については、二年生の頃は正直乗り気ではない部分がありました。ですが、三年生になつて短い時間の中で、みんな一緒に練習しているときに、すごい自分とか周りの人が楽しんでいるの気がつきました。できなかったことが一つひとつできるようになっていく、すごく楽しいなあと感じました。中学校最後の行事でこんなに楽しい思い出ができて、なにより本番までの三週間は、本当に大切な時間になったと思います。



三年

今日まで指揮の練習をしてきて、最初のころは何もうまくいかないし、ピアノとも合わず、さらに自分も思うように手が動かなかつたりして、正直、指揮をやるのはやめようと思つたこともありましたが、でも、みんながアドバイスをしてくれたり、先生の言葉だったり、「指揮がんばってね」といってくれる人がたくさんいたりして、とてもはげま

されました。やめなくて本当によかったです。最高の合唱でした。

三年

吹奏楽部の発表では、満足いかなかったところもありました。合唱発表は、歌っていて本当に楽しかったです。今まで、CDを聴いたり、パートで合わせてきたことが、クラスで一つにまとまった感動を感じました。クラスで何か一つのこと挑戦するのは貴重だし、とてもよい経験になると思います。今回は、特にみんなが楽しく歌えたと思うので、そこが何よりもうれしいです。クラスのみんなに感謝します。

二年

私は学習活動発表会とおして、団結力の大切さを知りました。私たちが、二年一組は合唱で「時を越えて」を歌いました。練習をする際に、各パート一人ひとりが思う意見を共有していました。「この部分は強くしたほうがいいよ」とか、「四拍目の最初で切るんだよ」とか、さまざまな声を聞き入れて、最高の合唱になったと思います。そして、本番何日か前の学活の授業で、このクラスの合唱で一番大切なことは何かを話し合いました。その結果、「団結力」になりました。こうして、クラスが一つの目標に向かう



ことが、団結することにつながっていると、思い、団結力の大切さを知ることができました。

二年

私は、学習活動発表会で合唱を頑張りました。

練習のときは、パートリーダーや先生に指摘されたところを改善しようとして取り組みました。実際、よく改善できていたと思います。

全力で練習し、自分なりに自信をもって本番をむかえましたが、本番ではなぜか声が小さくなってしまいました。

来年在最後の学習活動発表会なので、この経験を生かして、心をこめて歌おうと思います。

二年

私は、学習活動発表会で印象に残っているのは合唱発表です。練習時間が本当に少なかったし、最初は音程もとることができず、ちゃんと歌えるようになるのか不安でした。少ない練習時間や音楽の授業でしたが集中して練習をすることで、少しずつよくなっていきました。

自分としては、三年生には追いつけなかったけど二年二組の合唱は声も出るようになり強弱も申し分ないものになりました。

また、吹奏楽部の発表もすごく楽しくて、

新型コロナウイルスで



大変な中、準備してくれて元気が出たし、盛り上げてくれました。

学校行事がなくなっていて、今までは違う学習活動発表会でしたが、思い出しに残りました。

コロナのこの状況で、合唱、展示、ステージ発表ができて、本当によかったと思っています。その中で、僕が一番印象に残っているのが合唱発表です。この状況の中で合唱って難しいんじゃないかなと思っていましたが、できるようなってうれしかったです。練習も各パートに分かれて練習することが多く、合わせることも少なかったため、本番、大丈夫かなと思っていましたが、うまく歌うことができました。来年はさらにもっといい合唱にしたいと思っています。

二年



もう一つは、目標に向かう姿勢が変わったことです。私たちの目標は「みつあみ」で、ソプラノ、アルト、メーソールの三つの音を一つにしようという意味だったので、練習を始めて一週間くらいは、音程も目線もバラバラで、本当に一つになれるのかすごく不安でした。でも、みんなで話し合いやパート別の練習を重ねていくうちにだんだん一つになっていくのが実感できました。みんなで合わせたとき、本当に感動しました。

一年

学習活動発表会をとおして私たち一年一組が成長したと思うことが二つあります。

二つのうちの一つが、みんなの声です。最初は高い声が出ず、低い声で歌っていて、ソプラノの声が全然聴こえなかったのですが、練習を続けて出せるようになり、本番ではソプラノ、アルト、メーソールの声がちょうどよいバランスになり、きれいな歌声で歌うことができました。

最後に私はアルトの副パートリーダーだったので、すごくアルトが難しく、たくさん練習が必要でした。でも、だれも不満を言わないで、真剣に取り組んでいた姿が、すごくかっこよかったです。このクラスみんなで合唱ができて本当によかったです。

ぼくが合唱発表をとおして成長できたことは二つあります。

まずはみんな一人ひとりが声を出せたということです。最初は声が出る人とでない人の差が激しかったのですが、練習をしていくたびに、声が出せるようになり、発表当日ではみんな出てきてすごいなと思いました。

もう一つは、最初のほうは「あなたがいて♪」の「あ」のところが聴こえなかったけど、練習を繰り返して、当日はみんなで声をそろえて出すことができました。本当によい合唱にすることができました。

僕は、学習活動発表会ががんばったことが二つあります。

一つは、展示発表です。展示発表では、本番の二か月くらい前から始めていて、ポスターをどこに貼るかとか本番までにいろいろ準備することがありました。大変だったことがたくさんあるけれど、終わってから達成感をすごく感じるようになって、「がんばったなあ」と思っています。

もう一つは合唱発表です。できていないところを話し合ったりしながら練習を進め、本番では練習してきたことを思いながら歌うことができてました。終わった後、みんなで今まで一番よかった話をすることができて、とても楽しくうれしかったです。また来年もがんばりたいです。

私は、学習活動発表会で、特に国語として、作品の展示をがんばりました。

国語の作品だけでなく、学習活動発表会当日に、いろいろな作品を見て、みんなすごく上手いなあと感じました。

また、ステージ発表では、先輩たちの発表を見て、一年とか二年たつと、こうやって発表できるよくなるのかなあと心に残りました。

ぼくが合唱発表をとおして成長できたことは二つあります。まずはみんな一人ひとりが声を出せたということです。最初は声が出る人とでない人の差が激しかったのですが、練習をしていくたびに、声が出せるようになり、発表当日ではみんな出てきてすごいなと思いました。もう一つは、最初のほうは「あなたがいて♪」の「あ」のところが聴こえなかったけど、練習を繰り返して、当日はみんなで声をそろえて出すことができました。本当によい合唱にすることができました。

